

第5回 東京電機大学同窓会幹事会 議事録

日時：平成18年1月26日(木)18時30分～20時30分

場所：校友会館6階 会議室

出席者：別紙

議事 . 第4代同窓会長「手島透」様との懇談

はじめに、経歴紹介の後、ご本人から以下の内容のお言葉を頂いた。

子供の頃、戦時中の話の後、本学に入学したのはこれからは電気通信技術が大切であると感じたためである。大学在学中においては、450馬力の発動機の実習の体験談や、就職活動の苦勞体験から得た教訓等について話された。また、園遊会での昭和天皇との会話談や母親からの教えについて話された。最後に、「同窓会を利用して視野を広げ人生を豊かにしてください」と述べられた。

議事 . 新幹事の件

北村要 さん(平成9年理工学部情報システム工学科卒、現在、東光電気工事(株)に勤務)の幹事への推薦があり、本人からの挨拶があった。

議事 . 各委員会活動報告

1. 広報委員会：委員の福田さんより、HPに歴代会長紹介のページを掲載した件、報告があった。また最近、HPの書き込み欄があらされていることに對し、対応策を講じた旨報告があった。
2. 準会員支援委員会：小林委員長より特になし、との報告があった。
3. 事業委員会：林委員長より、2/4(土)開催予定のクラス世話人会「縦の会」開催について報告が以下の通りあった。
S27～H13卒のクラス世話人会の案内を出したところ参加申込みが少ない。該当者に連絡願いたい旨連絡があった。
これに對し、大館さんから、世話人会がどのような会なのか質問があり、会の運営方法に問題があるのではないかと意見が出された。今後注意して行くとともに、会の名称を「縦の会連絡会議」という名称にしたい旨、会長から回答があった。
4. 総務・会計委員会：本橋委員長より今年度予算の執行状況と来年度の予算案について説明があった。今年度予算のうち支出の項においては、支部会・父母懇談会および大学院縦の会設立準備の各予算において当初計画より支出が減少している理由について説明があった。(それぞれ理由は、父母懇談会への出席取りやめ、学内が改変時期にあり現在問題が多く設立は無理、というもの。) 来年度予算においては、現状にあわせて支出項目の見直し案が提出された。(支部会・

父母懇談会 支部会，大学院縦の会設立準備 縦の会設立準備，参与会 参与会・歴代会長会，事務用消耗品費 消耗品費，イベント援助金，委員会，通信費，雑費の項の新設)

以上に対し，大館さんから明確になってよしいのではないかと，また，100周年事業等に向けて予算を考えるべきとコメントが出された。

これに対し，会長から，次回幹事会で提案したい旨回答があった。

5. 会則・援助規定検討委員会：野崎委員長より会則改定について説明があり，来年度4月の総会で提案したい旨報告があった。要旨は以下の通り。

第1章第2条：推薦 承認，同第4条：短大 削除，同5条追加：中途退学者の入会。第4章第6条：「役員及び幹事」会長，副会長，会計および会計監査の人数。同7条2項から5項：総会から選出する。同8条：1項を分割。同9条2項：幹事の再任。第5章：会議，第6章：支部，第7章：委員会（新設）

以上の説明に対し，以下の意見が出された。

会計監査を幹事より選出するのはおかしい。これに対し，第7条2項から「幹事」の文字を削除することとした。

第8条3項の表現が曖昧（千葉さん，大館さん）これに対しは，「・・・会の運営に参画する。」等，今後検討する旨回答があった。

また，千葉さんより，第5章13条の後に14条として会計監査が意見を述べられる項を入れるべきである。会計監査の取り扱いが不明確である。と意見が出された。これに対し委員長から第6条4項として新規として入れるとともに，第4章の項目名称を変更することを考える旨回答があった。

議事 . その他

1. 就職セミナーについて：本橋委員長より当日のスケジュール，役割分担，参加企業および昨年との違い等について説明があった。また，当日業務に対し参加協力依頼があった。参加者には後日，委員長より詳細を連絡することとした。
大館さんより，懇親会の席で，後援会からの挨拶の場を是非設けるべきであると意見が出された。これに対し，対処する旨の委員長からの回答があった。
2. 次年度事業について：会長より，来年度も委員会制度は継続したい。大学院縦の会設立準備は廃止したい旨案が出された。
意見としては，野崎さんから，100周年関連事業について考えたらどうかと意見が出された。これに対して，会長より，詳細は次回幹事会で提案し，意見を伺いたい旨発言があった。